

(3) 県産米戦略推進課



【拡充】土地利用型作物競争力強化生産総合対策事業費

概要

- 土地利用型作物の共同利用施設の再編集約・合理化、整備への支援
- 土地利用型作物の生産性向上、安定生産等に向けた取組みへの支援

予算額（当初）：1,391,931千円
（2月補正）：1,587,783千円

事業期間：平成16年度～

背景／課題

本県の土地利用型作物の生産現場においては、産地の競争力の強化と農業者の収益性の向上が喫緊の課題となっている。このため、生産基盤を強化し、消費者・実需者の需要に応じて、安定的に生産・供給する体制等を構築する必要がある。

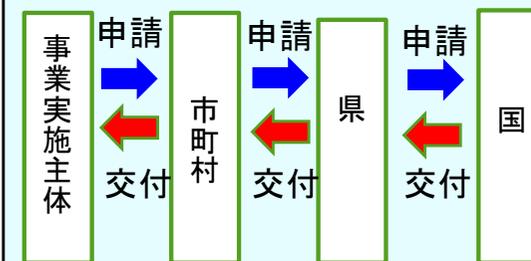
また、本県で稼働する穀類乾燥調製施設等の共同利用施設のうち約4割が耐用年数を超過しており、施設の更新等が喫緊の課題となっている。このため、施設の再編集約・合理化を支援し、農業構造を転換していく必要がある。

事業内容

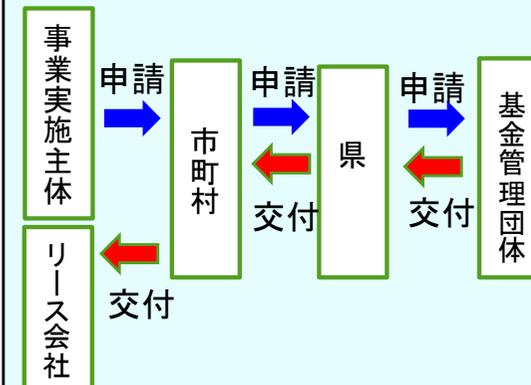
- 新基本計画実装・農業構造転換支援事業【2月補正】【当初】**
共同利用施設の再編集約・合理化を支援
(1) 共同利用施設の再編集約・合理化（補助率：1/2以内）
(2) 県の嵩上げ支援等による再編集約・合理化の更なる加速化【拡充】
（補助率：公益性・広域性の高い取組みについて(1)の補助額の1/3以内等）
○事業実施主体：農業協同組合、農事組合法人、農地所有適格法人等
- 強い農業づくり総合支援交付金（補助率：1/2以内等）【当初】**
共同利用施設の整備を支援
○事業実施主体：農業協同組合、農事組合法人、農地所有適格法人等
- 産地生産基盤パワーアップ事業（補助率：1/2以内）【当初】**
生産コストの低減や生産性向上、生産基盤の強化等に必要な農業機械のリース導入等を支援
○事業実施主体：「産地パワーアップ計画」に位置付けられた農業者等
- 麦類生産技術向上事業（補助率：定額）【当初】**
麦の施肥・防除系の構築等への支援
○事業実施主体：農業者の組織する団体等
- そば安定生産等対策事業（補助率：定額または1/2以内）【当初】**
湿害対策技術の導入、複数年契約取引、国産そばの新規需要拡大への支援
○事業実施主体：農業者の組織する団体等

事業スキーム

1、2、4、5の事業



3の事業



事業目標

	(現状)	(目標)
・経営体当たり米の産出額	R2～R5 395万円	⇒ R10 740万円
・大豆の単収	H29～R5 (7中5) 140kg/10a	⇒ R10 160kg/10a
・そばの単収	H29～R5 (7中5) 41kg/10a	⇒ R10 58kg/10a

問い合わせ先

- 1～3の事業
 ■担当：米政策推進担当
 ■電話：023-630-2304
 4、5の事業
 ■担当：作物振興担当
 ■電話：023-630-2316

【新規】水稻新品種「ゆきまんてん」導入推進事業費

概要

○生育期の高温環境が課題となる中、高温に強い品種への切り替えが不可欠であることから、水稻新品種「ゆきまんてん」の導入を推進

予算額（当初）：30,494千円
（2月補正）：10,000千円

事業期間：令和8年度～

背景／課題

◆本県の主要品種の作付面積は「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の3品種が8割を占め、「はえぬき」が52%と最もシェアが高い

◆令和5年、猛暑の影響で「はえぬき」の品質が大きく低下。令和6、7年は生産者の努力により品質を維持したものの、不安感は強い



◎高温耐性品種の作付け割合拡大による県産米の更なる安定供給

事業内容

1 種子の安定生産体制の構築

- ◇ 県農業総合研究センターにおける原種等生産のための施設整備
- ◇ 一般作付用種子生産を担う生産組織における安定生産・供給体制構築のための機械等導入支援

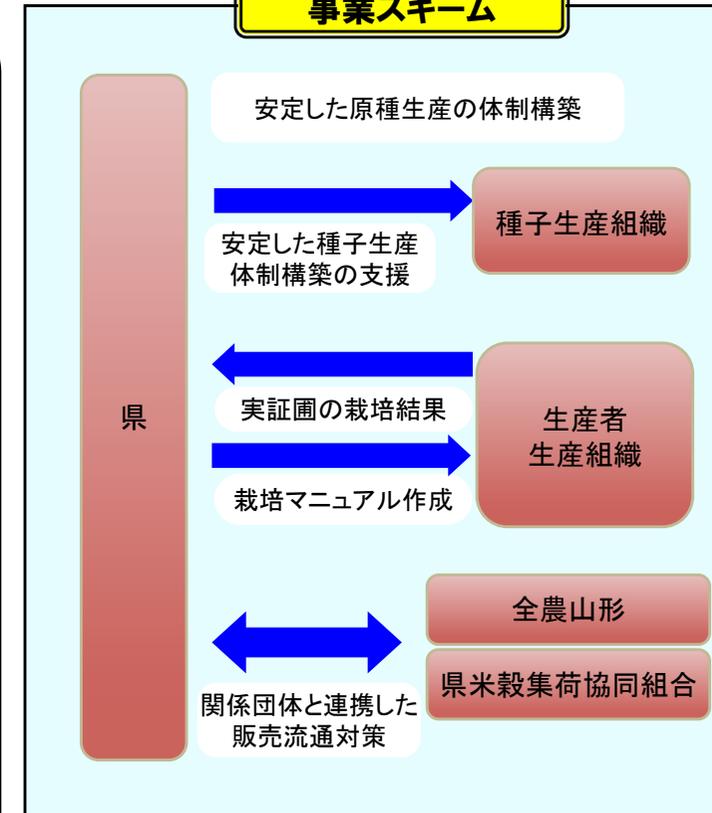
2 栽培マニュアル作成と省力・低コスト生産技術の開発

- ◇ 現地実証圃の栽培結果も踏まえた、基本栽培マニュアルの作成
- ◇ 直播などの省力・低コスト生産技術の開発

3 販売流通対策

- ◇ 令和9年度デビューに向けたロゴマークの作成
- ◇ 県民の機運醸成を図るプレデビューイベントの開催
- ◇ 国内外の実需者に対する求評による販路の開拓

事業スキーム



問い合わせ先

1、2 種子・栽培関係

- 担当：作物振興担当
- 電話：023-630-2316

3 販売流通関係

- 担当：県産米ブランド戦略担当
- 電話：023-630-3295・2476

事業目標

・ 水稻の高温耐性品種作付割合 R6（直近）26.4% ⇒ R10（目標）36.0%

【継続】山形「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略推進事業費

概要

○日本を代表するブランド米「つや姫」の更なる評価向上と生産拡大、「雪若丸」の認知度向上や需要の開拓に向けた、生産・販売・コミュニケーション戦略の展開

予算額（当初）：86,230千円

事業期間：令和3年度～

背景／課題

◆インバウンド需要の拡大など、需要増加による米不足や在庫増減による米価の大幅な変動

◆年々厳しさを増す温暖化に対応した米生産の必要性



◎日本を代表するトップブランド米「つや姫」の更なる評価向上と、高温耐性を踏まえた生産拡大

◎「雪若丸」ブランドの全国的な認知の更なる拡大と、選ばれるブランド米としての定着

事業内容

1 「つや姫」ブランド戦略の推進

- ◇ 戦略的な生産拡大と栽培技術の徹底等によるブランド価値の向上
- ◇ 新たな需要を喚起する新テレビCMの制作や放映によるプロモーションの展開
- ◇ トップブランド米としての販路拡大や、インバウンド需要を捉えたプロモーションの展開

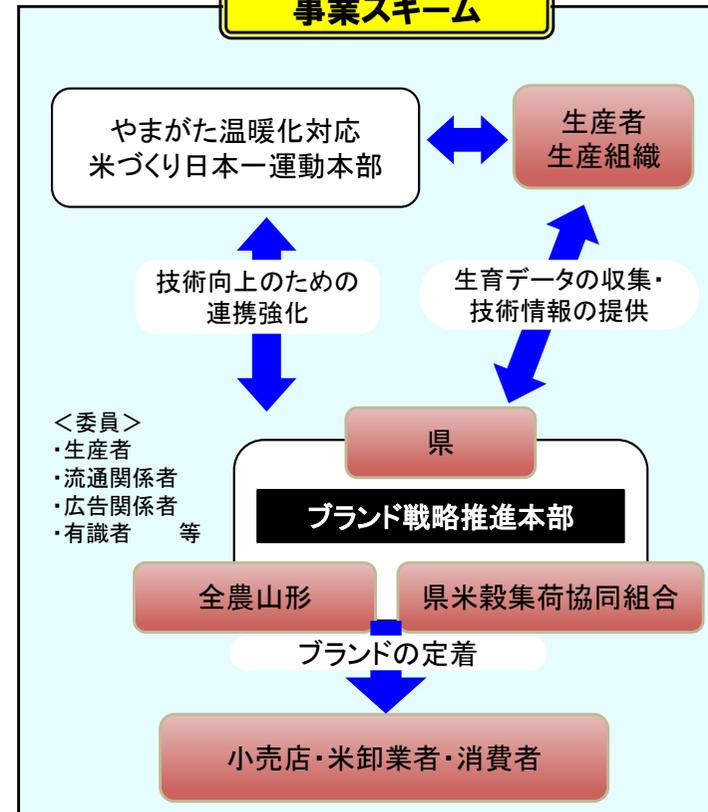
2 「雪若丸」ブランド戦略の推進

- ◇ ブランドの根幹となる高品質・良食味生産に向けた取組強化
- ◇ 購買ターゲットである子育て世代が興味関心を持つイベント実施や、SNSによる情報発信
- ◇ 首都圏等の量販店でのフェア開催など、商品定番化に向けたプロモーションの強化

3 県産米販売・PR支援

- ◇ PRスタッフによるSNS等を活用した積極的な情報発信や店頭でのPR

事業スキーム



問い合わせ先

生産戦略関係

- 担当：作物振興担当
- 電話：023-630-2316

販売戦略・コミュニケーション戦略関係

- 担当：県産米ブランド戦略担当
- 電話：023-630-3295・2476

事業目標

- ・「つや姫」の相対取引価格の全国順位 R6 (直近) 2位 ⇒ R10 (目標) 1位
- ・「雪若丸」の認知度 R6 (直近) 48.3% ⇒ R10 (目標) 80%